

記入日：令和2年8月12日

所在地（都道府県/市町村）：北海道 岩見沢市		
法人名：空知の風		
施設・事業所名：たのしいどう		担当者名：竹治 香里
事業種類：就労継続支援事業B型		
主たる障害：知的障がい		令和2年3月末現在 定員： 25 人
TEL:0126-24-6675	FAX:0126-24-6711	E-mail: tanoshi-dou@sorachinokaze.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・パン製造、菓子製造 ・喫茶営業 ・企業下請 ・ウエス製造販売 ・製品製造販売

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<ul style="list-style-type: none"> ・パン受注減少、販売先、イベント中止による収入減少（学校、飲食店等の休業に伴い） ・喫茶営業の自粛 ・企業下請の生産中止に伴う、収入減 ・行事の中止 ・作業環境や休憩時の三密対応と設備。 ・利用者通所判断の基準作成。在宅支援の実施。 ・利用者、職員の事業所間従来の制限。（送迎者の見直し、住居ペアリングの変更）

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

<p>事例タイトル：出来ることから一つずつ</p> <p>取り組み内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として、事業所内や作業環境、休憩場所等の三密対応を出来ることから一つずつ進めています。少しでも就労の収入に繋がるよう、マスクやドアノブカバーの製造、飛沫対策のパーテーションの制作等を、就労の作業として行なっています。販売した収入を少しでも利用者さんの工賃へと繋げる試みをしています。パン製造班でも、定期的に親御さんへ商品のご紹介をさせて頂き、少しずつですが、売上へと積み重ねています。



④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

- ・感染症対策として、マスクの需要があること。
- ・不特定多数の方が接触するドアや椅子、テーブル等からの感染リスクが高いため。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

- ・就労で製造したマスクなどは、利用者、ご家族、職員にも購入して頂き、収入へと繋がっています。
- ・パン製造班では、定期的にご紹介することで、利用者ご家族だけではなく、お友達や職場の方など、様々な方まで口コミで商品の宣伝をして頂き、新たな顧客が増え、売上へと繋がっています。
- ・三密を避けるため、各事業班単位で時間や場所を区切り、食事や休憩を行なう事で、利用者間の仲間意識が高まり、お互いを意識し合う関係性へと変化してきた。
- ・事業所間の往来を制限し、業務や体制の見直しを行なったことで、様々な課題も見えた事。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

- ・マスクやドアノブカバーの製造に使用するミシンの購入。
- ・事業所内や店舗、作業場所に設置する飛沫防止のパーテーションの製作や、感染症予防のための消毒場設置。（足消毒、手指消毒他）
- ・職員の事業所従来を制限したことによる、会議や研修の見直しにより、Web化導入による備品購入。

⑦ 今後の課題・展望

- ・職員の業務体制、労務体制の見直し（感染者や接触者が出た場合に休業出来る体制作り）
- ・就労の収入回復に向けての、事業内容（作業内容）の見直し、改善。
- ・利用者皆が、日々作業や生活をしていく中で、先の見えない不安だけではなく、楽しみや目的に向けた、意欲へと繋げられるような取り組みの実施や改善等。
- ・利用者の働く場所、居場所を失わないような事業運営の実施。



